

『 各種のいぼの治療
～主に老人性いぼの治療について～ 』

はながき皮膚科・形成外科クリニック 花垣博史

(抄録)

いぼの主な治療法には、放置（自然消退を待つ）、鑷子、剪刀で除去、液体窒素圧抵、酸による化学焼灼、電気焼灼、尿素クリーム外用、ヨクイニン内服、切除（大きい場合や診断がはっきりしない時）である。

代表的ないぼに対する治療の適応を述べる。

1.伝染性軟縮腫

放置、鑷子で除去、尿素クリーム外用

そう痒がある場合、湿疹化時や毛囊炎様変化を生じた場合、外用や内服加療

2.尋常性疣贅

液体窒素圧抵、酸による化学焼灼、尿素クリーム外用、ヨクイニン内服

3.青年性扁平疣贅

尿素クリーム外用、ヨクイニン内服、液体窒素圧抵、放置

4.尖圭コンジローマ

ベセルナクリーム外用、液体窒素圧抵、尿素クリーム外用、ヨクイニン内服

5.老人性いぼ（前述の4つのいぼと異なり、原因はウイルスではなく皮膚の加齢による変化である）

放置（整容的に気にならない場合、そう痒や出血などがなく支障にならない場合）、

剪刀で剪除、電気焼灼、液体窒素圧抵、切除

（※ 上述の治療は、状態に応じて組み合わせる。）